
ユニットプライス規定集
[試行用] (案)

【ブロック製作編】

平成22年6月

国 土 交 通 省
港 湾 局

目 次

1 . ユニットプライス規定集について	頁
1.1 総則	総則 - 1
1.1.1 適用	総則 - 1
1.1.2 用語の定義	総則 - 1
1.1.3 規定事項	総則 - 2
【参考】ユニットプライス規定集の補足説明について	総則 - 5
(1) 構成	総則 - 5
(2) 表現上の留意事項	総則 - 6
2 . ユニット区分の規定	
2.1 直接工事費(ユニット)	ブロック - 1 ~ 消波 - 3
2.2 間接工事費(ユニット)	間接 - 1 ~ 20
2.3 一般管理費等	一般管理費等 - 1

1 . ユニットプライス規定集について

1. 1.1 総 則

1.1.1 適 用

「ユニットプライス規定集(以下、規定集という)」は契約図書であり、工事数量総括表における各ユニット区分の契約単位、プライス条件、プライス条件区分、ならびに各ユニット区分に含まれる費用内訳について規定するものである。

1.1.2 用語の定義

(現行積算方式)

現行積算方式：

必要な労働力や資材、機材の調達から施工までプロセスを想定しながら、工事目的物を定められた位置に、定められた期間内に設置するのに必要な費用を積み上げる方式をいう。

直接工事費：

工事目的物の施工に要する材料費、労務費及び機械経費の全ての費用をいう。

諸経費：

工事目的物を施工するために間接的に必要となる費用であり、共通仮設費、現場管理費から成る間接工事費、ならびに一般管理費等である。

(ユニットプライス型積算方式)

ユニット区分：

発注者・請負者間において契約した総価を構成する基本区分(工事数量総括表の各項目)をいい、直接工事費(ユニット)、間接工事費(ユニット)、一般管理費等から構成される。

直接工事費(ユニット)：

直接工事費及びそれに連動して計上する共通仮設費、現場管理費で構成するユニット区分をいう。

間接工事費(ユニット)：

直接工事費(ユニット)に計上しない共通仮設費(率計上または積み上げ計上)で構成するユニット区分をいう。

一般管理費等：

企業の継続運営に必要な一般管理費及び付加利益のすべての費用で構成するユニット区分をいう。

ユニットプライス(合意単価)：

ユニット区分毎に合意した単価をいう。

ユニットプライス型積算方式：

ユニットプライス(合意単価)を積算に用いる手法をいう。

契約単位：

各ユニット区分における契約上の単位をいう。

プライス条件(プライス条件区分)：

ユニットプライス(合意単価)における設計変更の対象となる条件をいい、プライス条件に設定された区分をプライス条件区分という。

費用内訳：

ユニットプライス(合意単価)に含まれる全ての費用に関する内容をいう。

1.1.3 規定事項

本規定集では直接工事費（ユニット）、間接工事費（ユニット）及び一般管理費等毎に以下の事項を規定する。

(1) 直接工事費（ユニット）

直接工事費（ユニット）は、標準的な現場条件および施工形態等に基づいたものであることから、特殊な制約がある場合は、対象外とする。

設計変更ではユニット区分毎に設定されているプライス条件の区分が変更になった場合に、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

契約単位

「2.1 直接工事費（ユニット）」の各ユニット区分に規定する。

プライス条件（プライス条件区分）

「2.1 直接工事費（ユニット）」の各ユニット区分に規定する。

ただし、各ユニット区分における共通事項として、昼夜間及び時間的制約に関するプライス条件（プライス条件区分）を下記のとおり規定する。

プライス条件	区 分
昼夜間	(1)昼間 (2)夜間
時間的制約	(1)無し (2)有り (3)著しく有り

注)・昼夜間の「昼間」とは通常勤務すべき時間帯（8～17時）をいい、「夜間」とは作業時間が20時から6時にかかる場合をいう。

・時間的制約の「有り」とは、作業時間が7時間/日を超え7.5時間/日以下をいい、「著しく有り」とは、作業時間が4時間/日7時間以下をいう。

費用内訳

「2.1 直接工事費(ユニット)」の各ユニット区分に規定する費用内訳の他、次に示す事項に要する全ての費用を含むものとする。

【全てのユニットに共通する事項】

- ・積雪寒冷地域における冬期の施工及び豪雪地域の施工
- ・施工地域が市街地・山間僻地及び離島・地方部にあっては一般交通等の影響を受ける場合等における施工

【個別のユニットに該当する事項】

- ・特許使用料(特許使用料を必要とする工法が指定された場合)
- ・排出ガス対策型建設機械(第1次基準値)を使用する施工
- ・材料が支給品の場合における共通仮設費及び現場管理費
- ・岩石作業に伴う施工

ただし、各ユニット区分に計上する共通仮設費及び現場管理費の費用項目については、別表「間接工事費(ユニット)におけるユニット区分について」(直接工事費(ユニット)に計上する)のとおり規定する。

(2) 間接工事費（ユニット）

設計変更では間接工事費（ユニット）のユニット区分毎に設定されているプライス条件の区分、あるいは直接工事費（ユニット）が変更になった場合に、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

なお、間接工事費（ユニット）における費用項目とユニット区分との対応については、別表「間接工事費（ユニット）におけるユニット区分について」のとおり規定する。

契約単位

「2.2 間接工事費（ユニット）」の各ユニット区分に規定する。

プライス条件（プライス条件区分）

「2.2 間接工事費（ユニット）」の各ユニット区分に規定する。

費用内訳

「2.2 間接工事費（ユニット）」の各ユニット区分に規定する。

(3) 一般管理費等

設計変更では直接工事費（ユニット）あるいは間接工事費（ユニット）が変更になった場合に限り、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

契約単位

「2.3 一般管理費等」のユニット区分に規定する。

プライス条件（プライス条件区分）

「2.3 一般管理費等」のユニット区分に規定する。

費用内訳

「2.3 一般管理費等」のユニット区分に規定する。

別表 間接工事費(ユニット)におけるユニット区分について

項目	内容	計上するユニット区分			備考
		直接工事費 (ユニット)に 含まれる	間接工事費(ユニット)		
			率計上	積上げ計上 (ユニット名)	
(1) 共通仮設費					
1) 回航・えい航費	船舶および機械器具等の回航・えい航に要する費用				
(A) 船舶の回航	回航、離装、運転、損料、回航保険、検査、旅費等			回航費	
(B) 船舶のえい航	えい航、運転、損料等			えい航費	
2) 運搬費	工事施工に必要な機械器具の運搬に要する費用				
(A) 器機材					
1. 仮設材	型枠材、足場材、支保材				
2. 仮設材	鋼矢板、H形鋼、覆工板			仮設材等運搬費	
3. 仮設材	排砂管、トレミー管等				
4. 敷鉄板類	敷鉄板(敷鉄板の設置撤去費用を積上げた分は除く)				
5. 積み込み取り卸し費	2. 仮設材の項目及び4. 敷鉄板類の積み込み取り卸し費				
6. その他	器機材で上記1.～6.以外で要した費用				
(B) 建設機械20t未満					
1. 自走・貨物自動車等による運搬					共通仮設費(率計上)
2. 日々回送による運搬					
(C) 建設機械20t以上					
1. 貨物自動車等による運搬				建設機械器具等運搬費	
2. 自走による運搬					
3. 日々回送による運搬					
3) 準備費	工事施工に必要な準備および跡片付け等に要する費用				
(A) 準備・測量等					
(A) 準備・測量等	準備及び跡片付けに要した費用、調査、測量、丁張り等に要した費用、準備作業に伴う伐開、除根、除草による現場内の集積・積込み及び整地、段切り、すりつけ等に要する費用				
(B) その他	伐開、除根等に併し発生する建設副産物等の工事現場外への運搬費及び処分費 上記以外の工事施工に必要な準備に要する費用			各種()	
(Z) 緊船費等(海岸工事)					
(Z) 緊船費等(海岸工事)	海岸工事における作業船の休航中の労務費及び海象条件等により退避する場合に要する費用			準備費(海岸)	
4) 事業損失防止施設費					
騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等に起因する事業損失を防止するための費用					
(A) 水質汚濁防止膜	汚濁防止膜の設置・撤去、移設および保守管理等に要する費用			水質汚濁防止膜	
(B) 水質汚濁防止枠	汚濁防止枠の設置・撤去等に要する費用			水質汚濁防止枠	
(C) その他	騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等に起因する事業損失を防止するための費用			各種()	
5) 安全費					
工事施工のための安全に要する費用					
(A) 安全管理費	交通管理等に要する費用、安全施設等に要する費用、安全管理等に要する費用				共通仮設費(率計上)
(B) 交通誘導員等	交通整理員及び機械の誘導員等の交通管理に要する費用			交通誘導員	
(C) 鉄道空港安全管理	鉄道、空港関係施設等に近接した工事現場における出入口等に配置する安全管理員等に要する費用			各種()	
(E) 標識	浮標灯設置撤去、浮標灯・浮標灯維持管理等に要する費用			標識	
(F) 安全対策	安全監視船等に要する費用			安全対策	
(G) その他	上記以外で現場条件等により安全に關して要する費用			各種()	
(Z) 危険物探査費	浚渫等の作業海域における危険物探査(潜水探査)の実施に要する全ての費用			潜水探査	
6) 役務費					
土地の借上げ等に要する費用、電力、用水等の基本料					
(A) 土地等の借上費	工事を行うにあたり必要となる土地の借上げ(例:ヤード使用料)、岸壁等の使用(例:係船料)に要する費用。現場事務所など営繕費用に關するものは9)営繕費に計上する。			借上げ料等	
(B) 電力用水等基本料	工事を行うにあたり必要となる電力、用水等の基本料であり、電力設備工事負担金も含む			各種()	
7) 技術管理費					
品質管理、出来形管理及び工程管理等に要する費用					
(A) 品質管理費等	品質管理等(品質管理、出来形管理、工程管理)に要する費用				
(B) 特別な品質管理	品質管理基準に記載されていない項目に要する費用(土質試験等)			技術管理費	
(C) 現場条件等費用	現場条件により積上げを要する費用(試験盛土等)			技術管理費	
(D) 品質証明(社内検査)に要した費用	品質証明に要する費用(品質証明員が工事施工途中及び検査(完成、既済部分、中間技術検査)の事前に行う品質確認及び検査時の立ち会い費用等)			技術管理費	
(E) 各種調査等	各種調査等に要する費用(施工情報調査・諸経費動向調査に要した費用)			技術管理費	
(F) 各種台帳等	各種台帳等の作成・修正に要する費用(道路施設台帳の作成等)			技術管理費	
(G) その他	上記以外の項目で特に技術的判断に必要な資料作成に要する費用			各種()	
8) 水雷・傷害等保険費					
危険区域等で工事を行う場合に必要となる水雷・傷害等の保険を付保することにより生じる保険料の支払いに要する費用					
(A) 水雷保険料	水雷保険料等に要する費用			水雷保険料	
(B) 傷害保険料	傷害保険料等に要する費用			傷害保険料	
(C) その他				各種()	
9) 営繕費					
現場事務所、試験室、労働者宿舎、倉庫、材料保管場所の営繕(設置・撤去・維持・修繕)に要する費用					
(A) 建物費	現場事務所、試験室、労働者宿舎、倉庫、材料保管場所の営繕(設置・撤去・維持・修繕)に要する費用				共通仮設費(率計上)
(B) 借上費	上記に係わる土地・建物借上げに要する費用				共通仮設費(率計上)
(C) 労働者送迎費	労働者の陸上輸送に要する費用				
(D) 労働者海上輸送費	労働者および作業船乗組員の海上輸送に要する費用				
(E) 監督員詰所等	監督員詰所、火薬庫類の営繕に要する費用、敷地の借上げに要する費用			営繕費	
(F) その他	共通仮設費に含まれる費目のうち上記以外に該当する費用			各種()	
11) イメージアップ経費(積上げ計上)	設計図書に明示されて実施するイメージアップに要する費用(イメージアップ施設設置等)			イメージアップ経費	
12) イメージアップ経費(率計上)	工事に伴い実施する仮設、安全施設、営繕施設等のイメージアップ及び地域とのコミュニケーションに関するものを対象として行う標準的なイメージアップに要する費用				イメージアップ経費(率計上)
(2) 現場管理費					
1) 労務管理費 賃金(いわゆる労務単価)以外に現場労働者に関する費用					
2) 安全訓練等費用 安全訓練等に要する費用					
(A) 安全・衛生に要した費用 安全訓練費、安全大会、作業手順会等の費用					
(B) 研修訓練等に要した費用 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育					
3) 租税公課 印紙類、自動車税及び固定資産税					
4) 社員等従業員給料手当 社員等従業員の給料、諸手当及び賞与に係わる費用					
5) 退職金 社員等従業員に係わる退職金及び退職給付引当金繰入額					
6) 保険料 火災保険、工事保険、自動車保険、組立保険、法定外の労災保険、その他の損害保険					
7) 法定福利費					
(A) 労災保険料					
(B) 雇用保険料					
(C) 健康保険料					
(D) 厚生年金保険料					
(E) 建退共制度掛金					
8) 福利厚生費 社員等従業員に対する慰安、娯楽、厚生、貸与被服、健康診断、医療、文化活動、慶弔見舞金等に要した費用、及び社員等従業員の団体傷害保険料					
9) 補償費 工事に伴って通常発生した物件等の毀損の補償及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費で、緊急的な応急措置及び簡易復旧にかかる費用					
10) 通信交通費 社員等従業員が本支店等に出張した旅費、発注者等への連絡交通費および電話、郵便等の通信費					
11) 事務用品費 事務用消耗品類および新聞、参考図書等の購入費					
12) 動力・用水光熱費 事務所、宿舎等で使用された電力、水道、ガス等の費用(基本料金を含む)					
13) 交際費 得意先、来客の応対費、慶弔見舞い等に要する費用					
14) 寄付金 社会福祉団体等に対する寄付					
15) 外注経費 工事施工を専門工事業者等に外注する場合に必要な経費					
16) 工事登録等に要する費用 工事実績等の登録に要する費用					
17) 雑費 現場管理費に含まれる費目のうち上記以外に該当する費用					

【参考】ユニットプライス規定集の補足説明について

(1) 構成

本規定集の本編の構成は、基本的には下図に示すように、ユニット区分毎に以下の構成となっている。

- ・ 工事区分、工種、種別
- ・ ユニット区分
- ・ プライス条件
- ・ プライス条件の区分表
- ・ ユニットコード
- ・ 契約単位
- ・ 費用内訳（含むものと含まないもの）

工事区分：港湾工事

工 種：基礎工、本体工〔ケーソン式〕 本体工〔ブロック

種 別：基礎ブロック工、蓋ブロック工、本体ブロック工

ユニットコード：999999

ユニットの名称：レベル3と同じ場合は“工”を付け、レベル4またはレベル4細分の場合は“工”は付けないものとした。

ユニット区分	
ブロック製作	個

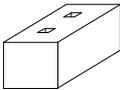
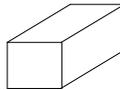
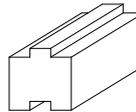
【プライス条件】

プライス条件は下表のとおり。

プライス条件	区 分
ブロック形状	(1)有孔型 (2)無孔型 (3)ほぞ有り (4)蓋コン版
高さ	(1)2 m以上 (2)2 m未満
鉄筋の有無	(1)有り (1)無し
特殊養生の有無	(1)有り (1)無し
生コンクリート規格	(1) 18-8-20(25)(高炉) (2) 18-8-40(高炉) (3) 21-8-20(25)(高炉) (4) 21-8-40(高炉) (5) 各種（具体的な規格を明示）

設計変更では、プライス条件の区分が変更になった場合に限り、ユニットプライス（合意単価）を変更するものとする。

ブロック形状：下図を参照し区分する。

有孔型	無孔型	ほぞ有り	蓋コン版
			
ブロック底面への揚圧力を減殺し、飛散防止の為に孔をあけた根固ブロック。	直方体の無筋コンクリート。本体ブロック。	ブロック相互のかみ合わせの為設けたほぞがある本体ブロック。	ケーソン用プレキャスト蓋コンクリート。

鉄筋の有無：構造上必要な鉄筋を含む場合を「有り」とし、ひび割れ防止等に使用する用心鉄筋のみ場合は「無し」と区分する。

なお、吊り鉄筋はこの鉄筋の有無に含まれず、「無し」となる。

契約上誤解を招かないよう内訳を明示した。

【費用内訳】

- ・ ブロック製作等に伴う作業で、ルーフィング敷設、鉄筋加工組立、吊鉄筋組立、型枠組立組外、陸上コンクリート打設、一般または特殊（練炭）養生、枠組足場架組等、その施工に要する全ての費用を含む。
- ・ **ブロック据付（転置、据付、横持ち、運搬据付・仮置）**は含まない。
- ・ **建設機械器具等運搬費**は含まない。

(2) 表現上の留意事項

本規定集では、特に費用内訳の表現方法を中心に、いくつかのルールを決めることとした。以下にそれらを表現上の留意事項として示す。

ユニット区分

ユニット区分では、現行体系ツリーのレベル4（細別）よりも大括り化された場合はレベル3（種別）と同じように名称の後に“工”を付けることとした。また、現行体系ツリーのレベル4（細別）と同じか、あるいはレベル4よりも細分化された場合は名称の後に“工”を付けないこととした。

費用内訳

費用内訳では、契約上誤解を招かないよう記述し、かつ、ユニット区分の施工に必要な機械・労務・材料費（損料等を含む）および共通仮設費（一部）、現場管理費を全て含んでいることを記述している。

なお、材料費等を含まない場合や、含むかどうか特に紛らわしいと思えた場合についても、ユニット区分に含まれない費用内訳を記述することとした。

全般

工法等、請負者における施工の任意性を阻害するような表現は極力避けることとした。

2 . ユニット区分の規定

2.1 直接工事費（ユニット）

工事区分：港湾工事

工 種：基礎工、本体工〔ケーソン式〕、本体工〔ブロック式〕、被覆・根固工、上部工

種 別：基礎ブロック工、蓋ブロック工、本体ブロック工、根固ブロック工、上部ブロック工

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
ブロック製作	個

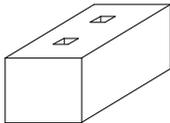
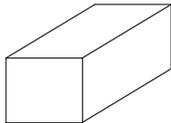
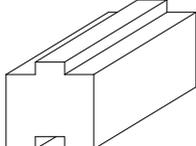
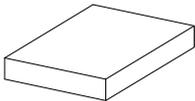
【プライス条件】

プライス条件は下表のとおり。

プライス条件	区 分
ブロック形状	(1)有孔型 (2)無孔型 (3)ほぞ有り (4)蓋コン版
高さ	(1) 2 m以上 (2) 2 m未満
鉄筋の有無	(1)有り (1)無し
特殊養生の有無	(1)有り (1)無し
生コンクリート規格	(1) 18-8-20(25)(高炉) (2) 18-8-40(高炉) (3) 21-8-20(25)(高炉) (4) 21-8-40(高炉) (5) 各種（具体的な規格を明示）

設計変更では、プライス条件の区分が変更になった場合に限り、ユニットプライス（合意単価）を変更するものとする。

ブロック形状：下図を参照し区分する。

有孔型	無孔型	ほぞ有り	蓋コン版
			
ブロック底面への揚圧力を減殺し、飛散防止の為に孔をあけた根固ブロック。	直方体の無筋コンクリート。本体ブロック。	ブロック相互のかみ合わせの為に設けたほぞがある本体ブロック。	ケーソン用プレキャスト蓋コンクリート。

鉄筋の有無：構造上必要な鉄筋を含む場合を「有り」とし、ひび割れ防止等に使用する用心鉄筋のみ場合は「無し」と区分する。

なお、吊り鉄筋はこの鉄筋の有無に含まれず、「無し」となる。

【費用内訳】

- ・ ブロック製作等に伴う作業で、ルーフィング敷設、鉄筋加工組立、吊鉄筋組立、型枠組立組外、陸上コンクリート打設、一般または特殊（練炭）養生、枠組足場架払等、その施工に要する全ての費用を含む。
- ・ **ブロック仮置、ブロック据付**は含まない。
- ・ **建設機械器具等運搬費**は含まない。

工事区分：港湾工事

工 種：基礎工、本体工[ケーソン式]、本体工[ブロック式]、被覆・根固工、上部工

種 別：基礎ブロック工、蓋ブロック工、本体ブロック工、根固ブロック工、上部ブロック工

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
ブロック仮置	個

【プライス条件】

プライス条件は以下のとおりである。

項 目	区 分
作業区分	(1) 転置(陸上) (2) 転置(海上) (3) 横持ち(陸上) (4) 運搬仮置(陸上連携) (5) 運搬仮置(海上一連) (6) 運搬仮置(陸海一貫方式)
ブロック質量	(1) 4.5t 以下 (2) 4.5t 超え 7.5t 以下 (3) 7.5t 超え 12.5t 以下 (4) 12.5t 超え 22.0 以下 (5) 22.0t 超え 31.0t 以下 (6) 31.0t 超え 37.5t 以下 (7) 37.5t 超え 50.0t 以下 (8) 50.0t 超え 70.0t 以下 (9) 70.0t 超え 100.0t 以下
ブロック区分	(1) L型・セルラーブロック (2) 本体方塊・直立消波・蓋ブロック
玉掛・玉外区分	(1) 陸上のみ (2) 陸上と水中 (3) 水中のみ
陸上運搬距離	(1) 各種 (km)
海上運搬距離	(1) 各種 (km)

設計変更では、プライス条件の区分が変更になった場合に限り、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

・本体ブロック仮置等に伴う作業で、ブロック転置、ブロック横持ち、ブロック運搬仮置の他、シャックル、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・ **建設機械器具等運搬費**は含まない。

工事区分：港湾工事

工 種：基礎工、本体工[ケーソン式]、本体工[ブロック式]、被覆・根固工、上部工

種 別：基礎ブロック工、蓋ブロック工、本体ブロック工、根固ブロック工、上部ブロック工

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
ブロック据付	個

【プライス条件】

プライス条件は以下のとおりである。

項 目	区 分
作業区分	(1)据付(陸上) (2)据付(海上) (3)運搬据付(陸上連携) (4)運搬据付(海上一連) (5)運搬据付(陸海一貫方式)
ブロック質量	(1) 4.5t 以下 (2) 4.5t 超え 7.5t 以下 (3) 7.5t 超え 12.5t 以下 (4)12.5t 超え 22.0 以下 (5)22.0t 超え 31.0t 以下 (6)31.0t 超え 37.5t 以下 (7)37.5t 超え 50.0t 以下 (8)50.0t 超え 70.0t 以下 (9)70.0t 超え 100.0t 以下
ブロック区分	(1) L型・セルラーブロック (2)本体方塊・直立消波・蓋ブロック
玉掛・玉外区分	(1)陸上のみ (2)陸上と水中 (3)水中のみ
陸上運搬距離	(1)各種(km)
海上運搬距離	(1)各種(km)

設計変更では、プライス条件の区分が変更になった場合に限り、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

・本体ブロック据付等に伴う作業で、ブロック据付(1スイング)、ブロック運搬据付の他、シャックル、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・建設機械器具等運搬費は含まない。

工事区分：港湾工事

工 種：本体工[捨石・捨ブロック式]、被覆・根固工、消波工、海岸消波工

種 別：捨ブロック工、被覆ブロック工、被覆ブロック工（海岸）、消波ブロック工、消波ブロック工（海岸）

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
消波ブロック製作	個

【プライス条件】

プライス条件は以下のとおりである。

項 目	区 分
ブロック種類	(1)各種（ブロック名称）
ブロック規格	(1)各種（ t 型等）
コンクリート 打設高さ	(1)2m 以上 (2)2m 未満
鉄筋の有無	(1)有り (2)無し
特殊養生の有無	(1)有り (2)無し
生コンクリート規格	(1) 18-8-20(25)(高炉) (2) 18-8-40(高炉) (3) 21-8-20(25)(高炉) (4) 21-8-40(高炉) (5) 各種（具体的な規格を明示）

設計変更では、プライス条件の区分が変更になった場合に限り、ユニットプライス（合意単価）を変更するものとする。

【費用内訳】

・消波ブロック製作（現地で製作するコンクリート投入打設、型枠の組立、脱型および清掃、はく離剤塗布、鉄筋加工・組立（連結用フック含む）、製作転置、一般または特殊（練炭）養生、足場架払の他、コンクリート打設小器材、養生剤、型枠はく離剤、ワイヤーロープ、足場および特許使用料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・消波ブロック仮置、消波ブロック据付は含まない。

・建設機械器具等運搬費は含まない。

工事区分：港湾工事

工 種：本体工[捨石・捨ブロック式]、被覆・根固工、消波工、海岸消波工

種 別：捨ブロック工、被覆ブロック工、被覆ブロック工（海岸）、消波ブロック工、消波ブロック工（海岸）

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
消波ブロック仮置	個

【プライス条件】

プライス条件は以下のとおりである。

項 目	区 分
作業区分	(1) 転置(陸上) (2) 転置(海上) (3) 横持ち(陸上) (4) 運搬仮置(陸上連携) (5) 運搬仮置(海上一連) (6) 運搬仮置(陸海一貫方式)
ブロック質量	(1) 4.5t 以下 (2) 4.5t 超え 7.5t 以下 (3) 7.5t 超え 12.5t 以下 (4) 12.5t 超え 22.0 以下 (5) 22.0t 超え 31.0t 以下 (6) 31.0t 超え 37.5t 以下 (7) 37.5t 超え 50.0t 以下 (8) 50.0t 超え 70.0t 以下 (9) 70.0t 超え 100.0t 以下
玉掛・玉外区分	(1) 陸上のみ (2) 陸上と水中 (3) 水中のみ
陸上運搬距離	(1) 各種 (km)
海上運搬距離	(1) 各種 (km)

設計変更では、プライス条件の区分が変更になった場合に限り、ユニットプライス（合意単価）を変更するものとする。

【費用内訳】

・消波ブロック仮置等に伴う作業で、ブロック転置、ブロック横持ち、ブロック運搬仮置の他、シャッフル、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・建設機械器具等運搬費は含まない。

工事区分：港湾工事

工 種：本体工[捨石・捨ブロック式]、被覆・根固工、消波工、海岸消波工

種 別：捨ブロック工、被覆ブロック工、被覆ブロック工（海岸）、消波ブロック工、消波ブロック工（海岸）

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
消波ブロック据付	個

【プライス条件】

プライス条件は以下のとおりである。

項 目	区 分
作業区分	(1)据付(陸上) (2)据付(海上) (3)運搬据付(陸上連携) (4)運搬据付(海上一連) (5)運搬据付(陸海一貫方式)
ブロック質量	(1) 4.5t 以下 (2) 4.5t 超え 7.5t 以下 (3) 7.5t 超え 12.5t 以下 (4)12.5t 超え 22.0 以下 (5)22.0t 超え 31.0t 以下 (6)31.0t 超え 37.5t 以下 (7)37.5t 超え 50.0t 以下 (8)50.0t 超え 70.0t 以下 (9)70.0t 超え 100.0t 以下
据付区分	(1)乱積 (2)正積
玉掛・玉外区分	(1)陸上のみ (2)陸上と水中 (3)水中のみ
陸上運搬距離	(1)各種(km)
海上運搬距離	(1)各種(km)

設計変更では、プライス条件の区分が変更になった場合に限り、ユニットプライス（合意単価）を変更するものとする。

【費用内訳】

・消波ブロック据付等に伴う作業で、ブロック据付（1スイング）、ブロック運搬据付の他、シャックル、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・建設機械器具等運搬費は含まない。

2.2 間接工事費（ユニット）

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	ユニット区分	ユニットコード	契約単位	ユニットプライス 定義集頁
共通仮設費	回航・えい航費	回航	回航		式	間接-1
		えい航	えい航		式	間接-2
	運搬費	建設機械運搬費	建設機械器具等運搬費		式	間接-3
		仮設材等運搬費	仮設材運搬費		式	間接-4
	準備費	準備	準備費(海岸)		式	間接-5
		事業損失防止施設費				
		水質汚濁防止膜	水質汚濁防止膜		式	間接-6
		水質汚濁防止柵 濁水処理 振動・騒音対策 大気汚染対策 地盤沈下・地下対策 構造物損傷対策 調査測定	水質汚濁防止柵 濁水処理 振動対策 大気汚染対策 地盤沈下・地下対策 構造物損傷対策 調査測定		式	間接-7
	安全費	標識	標識		式	間接-8
		安全対策	安全対策		式	間接-9
		交通誘導員	交通誘導		式	間接-10
		探査 高圧作業傷害予防	潜水探査 高圧作業傷害予防		m2	間接-11
	役務費	借上げ料等	借上げ料等		式	間接-12
		技術管理費				
		技術管理費	技術管理費		式	間接-13
		水雷・傷害保険料				
		水雷保険料	水雷保険料		式	間接-14
		傷害保険料 動産総合保険料	傷害保険料 動産総合保険料 ※		式	間接-15
	営繕費	営繕費	営繕費		式	間接-16
		イメージアップ経費				
	イメージアップ経費	イメージアップ経費(積上計上)		式	間接-17	
	イメージアップ経費(率計上)	イメージアップ経費(率計上)		式	間接-18	
共通仮設費(率計上)		共通仮設費(率計上)			式	間接-19
一時中止に伴う費用					式	間接-20

は未制定歩掛

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：回航・えい航費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
回 航	式

【プライス条件】

・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

・船舶および機械器具等を所在する場所から工事現場、その他の目的場所まで回航するための、往復に要する費用、艀装費、運転費、損料、回航保険料、検査料、旅費等の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：回航・えい航費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
え い 航	式

【プライス条件】

・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

・船舶および機械器具等を所在する場所から工事現場、その他の目的場所までえい航するための、往復に要する費用、運転費、損料の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：運搬費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
建設機械器具等運搬費	式

【プライス条件】

- ・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

- ・質量 20t 以上の建設機械の運搬費で以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。
- ・貨物自動車による運搬費（分解・組立＋運搬）
- ・運搬中の賃料

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：運搬費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
仮設材等運搬費	式

【プライス条件】

- ・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

鋼矢板、H形鋼、覆工板等の仮設材の運搬作業で以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

- ・仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板等）の運搬費

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：準備費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
準備費（海岸）	式

【プライス条件】

- ・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

作業船の休転中の労務費および現地作業途中で降雨、波浪等の気象、海象条件により退避する場合の経費で、引船の損料および燃料費で以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

- ・繋船費
- ・退避にかかる費用

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：事業損失防止施設費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
水質汚濁防止膜	式

【プライス条件】

・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

事業損失を未然に防止するために必要な仮設備（水質汚濁防止膜）の設置・撤去、ならびに維持補修に要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：事業損失防止施設費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
水質汚濁防止枠	式

【プライス条件】

・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

事業損失を未然に防止するために必要な仮設備（水質汚濁防止枠）の設置・撤去、ならびに維持補修に要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：安全費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
標 識	式

【プライス条件】

- ・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

灯浮標等の設置、撤去、維持管理に要する費用で以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

- ・灯浮標等の設置、撤去、維持管理

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：安全費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
安全対策	式

【プライス条件】

- ・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

安全監視船に要する費用で以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

- ・安全監視船

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：安全費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
交通誘導員	式 or 人日(総人数)

【プライス条件】

プライス条件は以下のとおりである。

- ・勤務形態

なお、プライス条件の区分は下表とする。設計変更は警察協議等により総人数、プライス条件の区分に変更が生じた場合に行うものとする。

【費用内訳】

交通管理のための交通誘導員の費用で、以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

- ・交通誘導員労務費

なお、交通誘導員とは、警備会社の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で交通誘導業務に従事するものを言う。

【プライス条件の区分表】

プライス条件	区 分
勤務形態	(1)昼間勤務（交替要員無し） (2)昼間勤務（交替要員有り） (3)夜間勤務（交替要員無し） (4)夜間勤務（交替要員有り） (5)24時間勤務（交替要員無し） (6)24時間勤務（交替要員有り）

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：安全費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
潜水探査	m2

【プライス条件】

・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

残存機雷等に対する安全対策として実施する潜水探査に適用する。

指定された海底面の磁気異常物の潜水探査、除去作業（機雷・砲弾等の爆発物で海上保安部等に引き渡すもの及び揚収不可能なものは除く）に要する全ての費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：役務費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
借上げ料等	式

【プライス条件】

- ・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

土地の借上げを必要とする場合に計上する費用で、以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

- ・借地料

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：技術管理費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
技術管理費	式

【プライス条件】

- ・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

各種技術管理に要する費用で以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

- ・各種技術管理費

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：水雷・傷害保険費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
水雷保険料	式

【プライス条件】

・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

危険区域等で工事を施工する場合に付保する水雷保険費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：水雷・傷害保険費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
傷害保険料	式

【プライス条件】

・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

危険区域等で工事を施工する場合に付保する傷害保険費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：営繕費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
営 繕 費	式

【プライス条件】

・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

監督員詰所、火薬庫等の営繕に要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費

種 別：イメージアップ経費

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
イメージアップ経費	式

【プライス条件】

・なし

プライス条件の詳細は設計図書及び工事数量総括表の記載による。

本ユニット区分は「港湾土木請負工事積算基準」による現行積算方式から設定したユニットプライスであるため、設計変更では現行の規定に従い、ユニットプライス(合意単価)を変更するものとする。

【費用内訳】

港湾土木工事のイメージアップのために、特別に実施するイメージアップ（インフォメーション施設の設置費等）等で要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：イメージアップ経費(率計上)

種 別：イメージアップ経費(率計上)

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
イメージアップ経費（率計上）	式

【プライス条件】

・なし

【費用内訳】

工事に伴い実施する仮設備、安全設備、営繕施設等を対象にして、標準的なイメージアップを行う場合および地域とのコミュニケーションに関する費用で、以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(1)仮設備関係

- 1.用水・電力等の供給設備、2.緑化・花壇、3.ライトアップ施設、4.見学路および椅子の設置、5.昇降設備の充実、6.環境負荷の低減

(2)営繕関係

- 1.現場事務所の快適化、2.労働者宿舍の快適化、3.デザインボックス(交通誘導員待機室)、4.現場休憩所の快適化、5.健康関連設備および厚生施設の充実等

(3)安全関係

- 1.工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等)、2.盗難防止対策(警報機等)、3.避暑・防寒対策

(4)地域とのコミュニケーション

- 1.完成予想図、2.工法説明図、3.工事工程表、4.デザイン工事看板(各工事 PR 看板含む)、5.見学会等の開催(イベント等の実施を含む)、6.見学所(インフォメーションセンター)の設置および管理運営、7.パンフレット・工法説明ビデオ、8.地域対策費等(地域行事等の経費を含む)、9.社会貢献

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：共通仮設費(率計上)

種 別：共通仮設費(率計上)

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
共通仮設費（率計上）	式

【プライス条件】

・なし

【費用内訳】

共通仮設費のうち、工種区分に従って所定の率計算により算定される費用で、以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(1) 運搬費

- ・ 質量 20t 未満の建設機械の搬入、搬出並びに現場内小運搬
- ・ 質量 20t 未満の建設機械の自走による運搬
- ・ 重建設機械(トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型 20～50t 吊)・ラフテークレーン(油圧伸縮ジブ型 20～51t 吊))の分解、組立および輸送に要する費用

(2) 安全費

- ・ 工事地域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要する費用
- ・ 不稼働日の保安要員等の費用
- ・ 表示板、標識、保安灯、バリケード、照明等の安全施設類の設置、撤去、補修に要する費用および使用期間中の損料
- ・ 夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要する費用(大規模な照明設備を必要とする広範囲な工事を除く)
- ・ 救命艇に要する費用
- ・ 酸素欠乏症の予防に要する費用
- ・ 粉塵作業の予防に要する費用
- ・ 安全用品等の費用
- ・ 安全委員会等に要する費用

(3) 営繕費

- ・ 現場事務所、試験室等の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用
- ・ 労働者宿舍の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用
- ・ 倉庫、材料保管場所の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用
- ・ 上記に係る土地・建物の借上げに要する費用

工事区分：間接工事費（ユニット）

工 種：一時中止に伴う費用

種 別：一時中止に伴う費用

ユニットコード：999999

ユニット区分	契約単位
一時中止に伴う費用	式

【プライス条件】

- ・なし

【費用内訳】

発注者が工事全体の一時中止、または、工程上クリティカルパスとなる工種において一時中止（一部一時中止）を指示し、それに伴い発生する以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(1)現場維持等に要する費用

- ・工事現場の維持に要する費用
- ・工事体制の縮小に要する費用
- ・工事の再開・準備に要する費用

なお、本支店における増加費用は含まない。

2.3 一般管理費等

工事区分：一般管理費等

工 種：一般管理費等

種 別： -

ユニットコード： -

ユニット区分	契約単位
一般管理費等	式

【プライス条件】

・なし

【費用内訳】

当該工事における企業の継続運営に必要な一般管理費及び付加利益の全ての費用を含む。